

未来を選択する会議 日韓少子化対策交流委員会について

資料 1

1. 委員会設置の目的：

日本と韓国はともに、出生率の著しい低下や人口減少という共通の重大な社会変動に直面している。両国が知見や経験を共有し、共同で解決策を検討・推進していくことが重要との認識のもと、両国政府の当局間で協議が開始されている。

これに歩調を合わせ、両国の産業界は民間レベルの交流・協力のための機構を組織し、少子化関連政策と研究経験を共有し、持続可能な解決策を共同で模索することにした。

人口減少問題は、社会規範や個人の価値観にも関わるテーマが多いため、行政だけではなく、民間における積極的な取り組みが重要である。本委員会の活動における共同研究や調査、対話や発信等を通して、少子化、人口減少問題に関する両国における機運醸成、社会全体の構造や意識の改革に資することを目的とする。

2. テーマ：人口減少についての日韓交流対話

～次世代が希望を持てる生き方、くらし方、働き方を考える～

3. 体制：

* 委員：氏名 50 音順

日本側：委員長 小林 健 ・日本商工会議所会頭
副委員長 増田 寛也 ・未来を選択する会議共同代表（日本生産性本部副会長）
委員 阿部 守一 ・全国知事会会長／長野県知事
委員 伊藤 仁 ・日本商工会議所専務理事
委員 藤崎三郎助 ・仙台商工会議所会頭
委員 山崎 史郎 ・前内閣官房人口戦略本部・
全世代型社会保障構築本部事務局総括事務局長

韓国側：委員長 崔 泰源（チェ・テウオン） ・大韓商工会議所会長
委員 成 允模（ソン・ユンモ） ・元産業通商資源部長官
委員 晋 玉童（チン・オクドン） ・新韓金融グループ会長
委員 崔 秀妍（チェ・スヨン） ・ネイバー代表理事
委員 鄭 京宣（チョン・ギョンソン） ・現代海上火災保険副社長
委員 朴 柱奉（パク・ジュボン） ・仁川商工会議所会長
委員 朴 倫慶（パク・ユンギョン） ・大邱商工会議所会長
委員 梁 文碩（ヤン・ムンソク） ・済州商工会議所会長

4. 主な活動内容：共同アンケート調査、シンポジウムの開催、共同研究など

<未来を選択する会議とは>

人口減少が進み、社会や経済、地域、そして日々の生活に大きな影響を及ぼしつつあります。私たち一人ひとりが希望する「生き方」「くらし方」「働き方」を実現し、豊かに安心してくらすことができる社会づくりに向けて、シンポジウムや対話・交流、調査研究、政策提言などの活動を展開しています。経済界、労働界、地方自治体、地域、子育て支援などを行う関係団体、学識者、若者世代などの幅広い層が参画しています。事務局は、公益財団法人日本生産性本部がつとめています。

（設立：2025 年 10 月 27 日／HP：<https://iroiromirai.jp/>）